

令和5年10月4日（水）

授業を聞いていますか

皆さんは授業を聞いていますか？もし、聞いていない人がいるとしたら、1時間の授業50分が無駄になるので、今すぐ聞くようにしてください。

しかし、聞いているだけでは足りないのです。授業を受けているだけでは成績を上げることは難しいのです。これは一体どういうことでしょうか。

「授業」という字の意味を考えてみましょう。授業は「業を授ける」と書きます。これを、柔道で置き換えてみましょう。例えば、先生が皆さんに「背負い投げ」を伝授してくれるとします。最初は先生が背負い投げをしているのを見ていることでしょうか。次に、先生に投げてもらいます。最後に自分も投げしてみる、という流れで「背負い投げ」を身につけるはずですが。

授業でも、先生が問題を解いているのを見ているだけでは、問題を解けるようになりません。自分でも解いている。分からないときは質問する。そして、最初から解いてみるといいでしょう。

私は、さらに先生のまねをすることをお勧めします。先生のまねとは、先生がした授業を、そのまま別のクラスであなたが再現できることです。先生から「次のクラスの授業はあなたがやってね。」と言われて、「分かりました！任せてください」と言えるようになるということです。自分で授業をするためには、先生がどのように説明したか、質問に答えたか、なども覚えなといけません。大変です。しかし、それができたらいつでも先生の授業を思い出せるのです。

基本的に定期テストは授業でやったことが出ますので、授業をそのまま覚えることができれば100点とれます。先生が何を発言したのかまねをして全部覚えるのです。もしかしたら、ダジャレや雑談などを言う先生がいるかも知れません。でも、そのまま覚えましょう。